

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名:

清水電気工業株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17 	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		創業時からの「コンセント一つでも喜んで」の精神を忘れず、お客様の為に技術向上と努力を社員一同で行っている。毎年、年間目標を掲げ達成に向け実践している。									8 	9 							17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		コンプライアンス講習を受講し、全体会議や定期会議にて重要性を認識させている。また不明な点や疑問点があったら、上司に相談するようしている。																	16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		不正競争行為に関与しないように、社員に啓発している。										10 							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		各部署において、変化する社会・環境に対応するべく各現場担当者を任命することで対応している。																		16
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		知的財産の保護の重要性を認識し、従業員に全体会議等で周知している。									8.2 8.3	9 								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		セキュリティーシステム担当者を任命し、サーバーシステムを導入。迷惑メールや個人情報の管理を徹底している。																		16
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		定期会議や営業会議で営業担当者や現場担当者が、取引先の要望などを把握・報告し、適切に対応できるようにしている。																	16 17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止・倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●										5 		8 	10 		12 	13 	14 	15 	16 	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●												9 	11 	13.1 						16 17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●																				17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1 	2 	5 					8 				12 	13 	14 	15 	16 	17 	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		差別やハラスメントを就業規則に定め、規約を社内に掲示している。また相談担当者を任命し、相談窓口を設置している。					4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		年に一度、協力会社と安全大会を行い、従業員には安全衛生責任者能力向上教育を受講させている。現場ごとに安全パトロールを行っている。			3 						8.8 									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		就業規則を定期的に改定することで、従業員(パート含む)の公正な待遇を行っている。					5.5 				8.5 	10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		残業時間の管理徹底や有給休暇・介護育児休暇の推進して家庭と仕事の両立を図っている。育児短時間勤務に関しては、就学時まで申請後、延長可能としている。			3 	5.5 				8.5 8.8	10.3 									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		研修や講習会の実施予定の回覧し、資格取得の為の助成金を支給している。取得後は、手当やお祝い金が支給される。				4 	5.5 			8 	9 									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		毎朝、体温チェックを行い提出。朝礼の際に全員で簡単なストレッチを実施。健康ヘルスター宣言を取得し、各々が健康管理を意識するよう推進している。			3 					8 								17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		昇進や昇格等に人種や性別などの違いによる差別的な待遇を行わないようにしている。女性社員の長期雇用と高齢者の雇用延長制度に取組み実施している。			4.4 	5.1 5.5 				8.5 10.2 10.3								16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		新型コロナウイルス感染症対策として、テレワークシステムがまだ未整備だったが、在宅で可能な業務を実施した。従業員全員に簡易アルコールスプレーとマスクを配布を行った。			3 					8 	9.1 	11 	12 							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●										8 	9.1 			11 	12 					
	21	【ブライ特企業】 ・ブライ特企業に認定されている。	●		ブライ特企業の認定を受けている。2021年度の更新審査済み。			3 	4 				8 	9 			12 						

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名:

清水電気工業株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17 					
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		排出されるごみ分別の看板を掲示し誰でも分別できるようにしている。 出されたごみは、適正に管理・廃棄処分を行っている。 マニフェストも取得している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1							
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		本社屋上に太陽光パネルを設置、節電に取り組んでいる。 社内の照明器具は、LED照明を設置している。 自社のエネルギー使用量を把握し、削減に取り組む。(2022年度より)						7.3						13										
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		2022年6月までに簡易計算シートを用いてCO2の排出の抑制に取り組む。		2.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15								
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		従業員にエコパックの使用を推進している。プラスチック製品の削減を意識するよう周知している。					6.6								14	15								
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		事務所内のごみ箱を1か所に決めゴミの減らすことを実行中。 裏紙や紙ファイルの再利用実施している。 ペットボトルの蓋は、専用回収箱において分別している。						9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15									
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		公益財団法人くまもと地下水財団の賛助会員に登録している。		2.4			6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17						
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		エアコン取付型のファンを購入し、設置している。 (エアコンの風の力だけで回転し、空気を循環させることで熱効率が上昇)					9.4				12.4 12.5	13	14	15										
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2			6.4					12.3		14	15		17							
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17						
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		本社屋上に太陽光発電パネルを設置し、社内の照明は、LED照明器具を使用おり、スイッチのリモコン化で必要な箇所だけ点灯することで電力の消費を削減・節電に取り組んでいる。				7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3												
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15									
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		熊本県緑化推進委員会に登録している。				6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15									
	34	【海洋ごみ】 ・環境で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●												12.2 12.5		14										
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		エコ通勤の推進。社員の1割が徒歩・自転車通勤を行っている。					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.2		13.1 13.3											
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●	●						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13								17.2			

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名:

清水電気工業株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1 1. 終結する貧困	2 2. 終結する飢餓	3 3. 健康と福祉の確保	4 4. 全人に学ぶ機会	5 5. 女性の権利の実現	6 6. 水資源の持続可能な利用	7 7. 安全で持続可能なエネルギーの供給	8 8. 持続可能な産業と雇用の促進	9 9. 経済成長と社会的不平等の削減	10 10. すべての人のための平等の機会と平和的調停	11 11. 持続可能な都市と人間居住地の実現	12 12. 経済成長と環境保護の統合	13 13. 気候変動への対応	14 14. 海洋の健康と持続可能な利用	15 15. 地域の持続可能な開発と人間居住地の実現	16 16. 持続可能な社会の構築	17 17. 各国が協力して持続可能な開発目標を実現		
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		ISO9100を認証取得済み。 安全性や品質管理を徹底し、顧客の要望に速やかに取り組むようにしている。			3.9						9			12.4							
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者・高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		施設・病院等にユニバーサルデザインを考慮した設計・提案をしている。 本社の玄関入口の段差を解消し、階段・トイレには手すりを設置している。								9.1	10	11.7							17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●		2.3 2.4						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●							7					12.2	13.1		15					
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●		2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17		
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		熊本市において清掃ボランティア年2回の参加。 自社では、従業員に対し、地域貢献活動を推進し、年2回のボランティア清掃実施している。(2022年からは年4回実施予定)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		社内掲示板にハザードマップを掲示している。				4							11.5		13.1				16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	高校生や専門学生等のインターンシップの受け入れを実施。 県内高校生の米国留学支援事業に参加している。				4					8.6		10.2						17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	地元の就職希望者を積極的に採用。 ふるさとまもと創造人材奨学金返還サポート制度に登録している。				4.4					8.5 8.6								17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●		2		4.3 4.4 4.5						8.6		10.2		12	13	14	15		17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。